

別紙

償却資産申告書・種類別明細書(増減資産用)の書き方

『償却資産申告書(償却資産課税台帳)』第26号様式

境町に償却資産を所有の方(異動がない方含む)、資産を取得して今回初めて申告される方ともに、必ず提出してください。

(申告書様式中1～22の項目について)

- 1 「所有者住所」には、住所のほか電話番号も記入してください。
- 3 「所有者氏名」(法人にあっては代表者氏名)を記入してください。※押印不要
- 5 個人の方は12桁の個人番号を、法人にあっては13桁の法人番号を記入してください。

償却資産を共有されている方は、記入不要です。

6～22 においては必要事項を記入してください。

19 前年度と変更がない場合には、資産に増減なしの口にレ点チェックをお願いいたします。

『種類別明細書(増減資産用)』第26号様式別表2提出用

境町に償却資産を所有されている方で、増減資産があった場合のみ提出してください。

資産を取得して今回初めて申告される方は、令和8年1月1日現在の全資産を記入し提出してください。

・「所有者名」(〇〇枚のうち、〇枚目)…記入をお願いします。

・「異動区分」…次の数字で記入してください。

増加＝1 令和7年1月2日から令和8年1月1日までに取得した資産がある場合。

減少＝2 所有資産が令和7年1月2日から令和8年1月1日までに減少した場合。

訂正＝3 所有資産に変更及び錯誤があった場合。

・「異動区分」を次のようにした場合

1(増加とした場合)

「物件番号」は記入の必要はありません。「異動区分」・「資産の種類」・「資産の名称等」

・「数量」・「取得年月」・「取得価額」・「耐用年数」・「申告年度」・「増減事由」のすべて記入。

2(減少した場合)

「異動区分」・「資産の種類」・「物件番号」・「資産の名称等」のみ記入。

3(訂正とした場合)

「異動区分」・「資産の種類」・「物件番号」・「資産の名称等」を記入し、訂正した箇所のみ記入。

・「取得年月」…1月1日に取得した場合は、「元日取得」の欄に「1」を記載ください。

・課税標準の特例が適用される資産については、「摘要」欄に特例の旨を記入してください。

(記入例)

種類別明細書(増減資産用)

異動区分 1. 増加 2. 減少 3. 訂正

行番号	異動区分	資産の種類	物件番号	資産の名称等	数量	取得年月 年 月 日	元日取得	取得価格	耐用年数	申告年度	増減事由	摘要
01	1	2		太陽光発電システム	1	5 7 9		8,000,000	17	R8	1	特例
02	2	1	0001	タンク	1							
03	3	6	0003	応急セット一式	3			3,600,000				